Fresh communication in NEW TOWN

フラミンゴ

第42号（季刊発行）

1994年11月1日
発　　行　荏田南連合自治会
会　　長　河鰭潤一
広報責任者　福島耕造
連絡先
山田 美千子　TEL/FAX　941－7454
㈲高野企画印刷社
〒225 横浜市青葉区荏田町1236
TEL/FAX　911－2835／911－2837

この『フラミンゴ』の活用を

「フラミンゴ」は、今年4月から荏田南連合自治会の広報紙として新らたにスタートしました。現在では荏田南地区を中心にニュータウン周辺の自治会・町内会に、約一万部程配布しています。一見すると見過ごされるような小さな宝物を、ひとつひとつ拾い集めて皆で共有し、一人でも多くの方々が何かほのぼのとした気持ちになってくれればと、そんな思いを乗せて7年間に渡って『自分たちの町を創ろう!!』をテーマに作られてきました。

早いもので、ニュータウンも昭和58年8月の入居開始から12年が過ぎました。当然そこに住む方々の顔ぶれも、おのずと新旧入り混じり、ともすれば、コミュニケーション不足になりがちではないでしょうか。コミュニケーションが不足し、相手の顔が見えてこないという環境では、せっかく良い意見や、役立つ情報を持っていても、自分だけでは無駄だ。とか、バカバカしいなどと思いがちで、なかなか前向きの発想にはなりにくいものです。そして、それはそこに住む人たちにとって非常にもったいない事ではないでしょうか!!

ささいな事でも、日頃自分が気になっている事、困っている事、人に伝えたいことなど、色々な立場から意見が出てくると、このニュータウンの顔が見え始め、だれもが安心して暮してゆける「ゆとり」ある生活環境になっていくものと思います。

そして、そんな一歩の為に、皆様に是非ともこの「フラミンゴ」を活用していただきたいのです!!。

例えば、バス停のタバコの吸殻どうにかならないのかしら?」とか、「この辺に学童保育が必要だ」「○○会発足　会員募集」とか、地域の人たちの意見を集めて実現させたい事など、どなたでもひとつやふたつお持ちだと思います。

心の奥にしまわずに「フラミンゴ」にぶつけてみてはいかがでしょうか。きっとスッキリするはずです。一度お試し下さい!!　心よりお待ちしています。

荏田南連合自治会広報部長
福島耕造

やったぞ！　荏田南イーグルス（少年野球チーム）
緑区少年野球大会で３位入賞（７面）

都筑区誕生！その時…

11月6日に都筑区が誕生します。新しい区が生れるといっても、私たち住民にとって、住所の区名が変わるだけ、といってしまえばそれまでですが、住居表示の変更とは少々事情は異なるようで……。

免許証の住所変更を！

まず、住民登録・戸籍・印鑑登録・税金・国民健康保険・年金・登記…など、役所が管理するモロモロの台帳を、全て書き換える必要があります。今の時代ですから、当然コンピュータに入力されています。

だから、それらはスイッチ一つで切り替わる。といってもコンピュータ技術者は、事前の準備を含めて大量の仕事をしなければならないでしょうが。しかし、手作業で書き換えるものもあります。それに、11月4日の業務が終わる午後5時から11月7日の始業時までに、全ての作業を終えなきゃいけないのだから大変です。ちなみに、8年前に戸塚区が和泉区と栄区、戸塚区に分区された時は、コンピュータ化されてなく、しかも土曜日は休みではなかったので、土曜日の午後から月曜日の朝までに、手書きで、台帳などを書き換えたということです（フー！）。

現在は土曜休庁になり、その変わりに婚姻届けなどは、土曜日や日曜日でも受けつけてもらえます。ただ、11月5日と6日だけは区役所は休庁となります。

それともう一つ、注意！　新区誕生とともに住居表示が変わる地区でも、区役所や市への届け出は一切必要ありません。しかし、自動車の陸運局への登録と免許所の住所変更だけは、住民一人ひとりがすることになります。

なお、都筑区の郵便番号は、すべて224に変わります。郵便局は青葉局（現在の青葉台東局）が担当となります。電話番号は変更なし。

都筑区誕生記念イベントの数々

11月1日から15日まで、地下鉄のセンター南駅では「都筑区菊花展」が開かれます。

新区の誕生日、11月6日は茅ケ崎小学校で、記念式典。同じ日に青葉区でも式典が行われるため、時間をずらせて、都筑区では11時50分から行われます。市長も出席しての式典で、都筑区のシンボルマークも発表されます。式の後は、隣りの茅ケ崎中学校でパーティーです。

分区の前10月29日には、『都筑区民出会いのフォーラム』＝都筑区ってどんなまち？＝と題して、区民が大いに語り合おうという催しが行われました。場所は住宅・都市整備公団の港北ニュータウンまちづくり館、時間が午後一時半から四時。二時間余りで都筑区民の動きがわかりました。これまで交流のなかった地域でも、グッと親しみが増したようです。

11月13日にはメインイベント『ハートフルフェアIN都筑』を東方公園で開催。スポーツ・芸能・フリーマーケット・緑道ウオーキングなど盛りだくさん。模擬店も出店します。

続いて11月20日午後3時からは、仲町台にある横浜東京ドイツ学園ホールで記念コンサート「祝祭のオペラ名曲集」（有料）。さらに11月26日・27日には、東芝エレベータテクノスホールで都筑区映画祭り「黒沢明の世界」が行われる予定。

こうしたイベント以外にも、記念事業実行委員会では「都筑　いま、むかし」というビデオを制作中、弥生時代から現在までの都筑の歴史、そして子どもたちが描く未来像まで都筑区の全てがみられます。

都筑区開設記念の主なイベント

- 10月29日　都筑区出会いのフォーラム
- 11月1日～15日　都筑菊花展
- 11月6日　分区　都筑区開設記念式典・祝賀会
- 11月13日　ハートフルフェアIN都筑
- 11月20日　記念コンサート「祝祭のオペラ名曲集」
- 11月26日～27日　都筑区映画祭
- 12月17日　「愉快・痛快いきいきフェア」
- 4月X日　都筑区総合庁舎落成記念式典・祝賀会
- 4月～5月　記念ミュージカル「北極星を探して」上演ほか

新区庁舎の落成記念イベントも

平成7年4月には、現在地下鉄の「センター南」駅前に建築中の、都筑区総合庁舎が完成します。ここには、区役所・保健所・消防署・公会堂・図書館・児童相談所・農政事務所が入ることになっています。

都筑区初の公営のホールができるわけです。公会堂なので、音楽や演劇専用のホールほどの設備はありませんが、最新の公会堂になるため、古くからある公会堂と比べれば、はるかに良くなるはずです。

そこで、こけら落しに上演されるのが、原作から演出・音楽など、全て住民の手作りによるミュージカル「北極星（ノーススター）を探して」です。『どうせ素人がやるのだから、大したことはないだろう』って思っていると大まちがい。大人が見ても十分楽しめること請け合い。練習も佳境に入っていますが、実行委員会では、裏で支えるスタッフを募っています。新しい区のスタートを、自分たちの町にしていくチャンスと考えて、あなたも参加してみては？

連絡先☎941－7668（梅森さん）

ミラノの感性。オフィスを制する円熟のブランド。
FIRST CLASS
ANTONIO FUSCO®
ITALY
紳士服アオキは、時代が求める本物のファッションをリーズナブルな価格でご提供致します。
東証一部上場企業
紳士服 アオキ MEN'S PLAZA
株式会社アオキインターナショナル
横浜港北店
横浜市緑区葛ヶ谷6-56
☎045(941)9888代

PMS 開講のお知らせ
（ヤマハ・ポピュラー・ミュージック・スクール）
ボーカル科・Eギター科・Eベース科
ドラム科―入会金¥5,150　月謝¥7,725
※レディースバンド・コース，個人レッスンもあり
ヤマハ音楽院横浜　無料チャレンジレッスン実施
横浜アリーナ1F　TEL 045(474)4111

有限会社高野企画印刷社
■TEL.045(911)2835
■FAX.045(911)2837

おみこし作り奮闘記

「夢みたいな話しですけど…、メゾンにお父さんたちの手作りの、本物のおみこしがあれば…。」

夢がそのまま実現となってしまった今年のみこし作り。何年来の子供会に懸案であったようで、スタートしたとたんにパワー炸裂。猛スピードで話しが進みました。

設計は江幡さん。本業ながら、おみこしは初めて。子供たちがかつぎやすく安全で、少しでも軽くとお骨折りくださいました。資金は自治会より、ポンと8万円。さて、鋸・金槌・カンナを持つは、全く素人のお父さん。…でも、いました、いました！日曜大工の達人たち。中でも須田忠興さんは、娘さんのためにミニチュア家具を手作りされているだけあって、カーブの多い屋根の難所や、技術指導を一手に引き受けてくださり、汗にまみれて大奮闘。0.1ミリの細かいところまでこだわり抜くお父さんたちのパワーは、もしかして本業以上だったのでは?!

一方お母さんたちは、「アラー、ここボンドでくっついちゃった！」「いいわよ、塗っちゃおうよ」「そうね。わかんないわよね…」と和気あいあい。のべ40時間。お父さんたちのより高い理想とお母さんたちのチームワークで完成を見たおみこしには、仕上げに「桜の御紋」がキラリ!!お父さんお母さんたちの汗の結晶を子どもたちはどう思ってかついでくれたでしょう。

ご神体は？と聞かれたら、迷わず「メゾンの次代を担う子への親心」と答えましょう。何はともあれ、おみこし作りで、すてきな人々に出会え、何十年ぶりかで「青春」したおみこし班でした。

（メゾン桜が丘子供会　大宮温恵）

都筑紳士録

港北NTで薪能を実現する会代表
二宮倫行さん

暑かった夏も終わり、朝夕の風や虫の声に、すっかり秋を感じさせる今日この頃となりました。

今回の都筑紳士録は、文化の秋にふさわしく「港北ニュータウンで薪能を実現する会」の代表でいらっしゃるメゾン藤の木台にお住まいの二宮さんにお話しをうかがいました。

二宮さんと能との出会いは大学四年の時だそうです。金春流の謡曲と仕舞を手始めに、その後（社）能楽協会の会員にもなられ、金春流シテ方として地謡（合唱部分）やトモツレ（シテに伴われる端役）役で上演のお手伝いもされています。昨秋は、国際交流基金の補助を得て実施された、デンマークの演劇学校での能楽講座に、師匠の助手として参加されました。

御本人は趣味とはおっしゃっていますが、23年もの立派な芸歴をお持ちです。

ところで薪能は、現在夏の夜のイベントとして、大変人気の高いものです。

夜、かがり火をたいた魅惑的なふんいきの中、情感を豊かに表現するという、まさに日本人の感性にとけこんでいくもの。そんな薪能を、この緑多い港北ニュータウンで実現しようと、今年四月より活動され、現在約20名の会員の皆様が企画作業を進めています。

「単なるイベントには終わらせたくないんです。」と二宮さん。

「地元でも活動している文化グループや社会活動グループと協力して、住みたい都筑の町作りを目的に、これらのグループの活動の発表の場として、手作りで実現したいと思ってます。」

まだまだ、たくさんの会員を募集しているそうなので、興味のある方は、ぜひふるって参加していただきたいと思います。私自身、こんな身近なところで、日本伝統芸能を味わえることを楽しみにしています。

（石）

NEWTOWN NETWORK

港北ニュータウン おいしい大地 北海道食べよう会

数年前、しいの木台ハイツに駐車場委員会が発足したとき、たまたま北海道出身のメンバーが数人いたのをきっかけにこの会は始まった。

立派な駐車場が完成し、委員会は解散したが、「何かをやろう」という強い熱意が引き続きメンバーの皆さんを結束。この「北海道食べよう会」はその代表的な活動の一つ。今年でもう3回目になる。年々その規模も大きくなり、今年は、牛ケ谷運動公園で開催。本場旭川から取り寄せたジンギスカンの肉をはじめ、ジャガ芋・トウモロコシ・カボチャなど、おいしい大地のおいしいものが盛りだくさん。さらに、ビールや豚汁、焼きおにぎりも。

他に材料は、近隣の農家の方々から野菜を原価で分けてもらい、郵便局の局長さんからは風船やあめ玉を寄付していただいた。メンバーのフットワークの良さと何より人望の厚さで毎年大盛況の大成功。

さて、北海道の人の最大の特徴は何と言っても『おおらかさ』。しいの木台ハイツのみならず、どこの人でも大歓迎してくれる。さらに、七〇歳以上の方と海外からの留学生を無料招待したり、昨年は奥尻島・普賢岳への義援金を会場で募ったりと、楽しみを自分たちだけのものに留めておかないところがまたこの『おおらかさ』なんだなあと感心しきり。

またまたさらに感心することは、食い気だけではなく、「しいの木台ハイツ運動会」や「益子焼バスツアー」と、スポーツ・文化両面に渡ってその活動を広げていること。

かく云う私の主人も札幌出身。お仲間に入れてくださーい。（北海道出身でない方も）お問い合わせは、栗田さん（942－5078）へ。

心よりご来場をお待ちしております。
日産プリンス神奈川販売株式会社
港北ニュータウン営業所
☎(045)941-1123代
あなたの街の日産です！
NISSAN
スカイライン
パルサー

シーマ　グロリア　スカイライン　プリメーラ　アベニール　パルサー　フェアレディZ
レパード　180SX　マーチ　ホーミー　バネット　ラルゴ・セレナ　プレーリー　サファリ
アトラス　ADバン・ワゴン

滋養強壮・肉体疲労 キヨーレオピン
虚弱体質・体力低下 レオピンファイブ

疲労に負けない、
病気に負けない、
基礎体力をつくろう！
電話注文・発送承ります。
ハタ薬局　☎911-3568
港北区中川町1452（江田〜綱島線・矢崎不動バス停前）

胃ガン・乳ガン・大腸ガン・乳幼児検診
成人老人検診指定医療機関
胃腸科・循環器科
弘中内科小児科医院
診療時間　平日　午前 9〜12時　午後 3〜6時
土曜　午前 9〜12時　午後1時半〜3時
日曜　午前 9〜12時
休診日　木曜・祭日
臨時休診日　毎月の第1日曜日・祝祭日により連休となる日曜日
緑区荏田東3－6－7（荏田東第一小学校そば）
港北ニュータウン近隣センター内☎941-6556

左な郎
☆水曜定休日☆
天ぷら
活魚
釜めし
営業時間　平日：午前11時30分〜午後2時
午後5時〜午後9時
日祭日：午後5時〜
☎(941)6263

ESSAY

サボテンを愉しむ

専修大教授　松浪健四郎（荏田南在住）

文字どおり〝猫の額〟の広さしかない庭に温室を建て、サボテン栽培を愉しんでいる。いろんな趣味をもっているけれど、土いじりはこのサボテン栽培だけである。

荏田南に移ってくるまで、世田谷に住んでいた。家内の実家で「逆玉」を謳歌していたのだが、子どもたちが大きくなるにしたがって追われ、四年前、ここに住みついた。

世田谷の温室は三坪。そこに幾種類ものサボテンが花をつけ、私は得意満面になって、栽培家気どりでいた。ところが、メチャクチャな多忙な日々が突然、私に襲いかかる。もはや手入れの時間はなく、たった一冬で三分の二の鉢をダメにしてしまった。家族のだれ一人とてサボテンを好まず、温度調節や水やりに協力してくれず、私は落胆にくれた。

今も孤軍奮闘。残った三分の一の鉢を携えて引越してきたのだが、この荏田南の風土は予想以上に厳しく、サボテンにとっては安住の地ではないようだ。水銀柱マイナスを記録する冬の日も多いにくわえ、夏は温室内は45度にまで上昇する。しかもアリがすぐに鉢に住みつくので、その世話はけっこう面倒くさい。

でも、荏田南に連れてきたサボテンたちは元気である。強い品種であることと、かつてのような多忙さから開放されたおかげであろう。それでも一週間の半分は地方に出ていて、じっくり手入れを愉しめないでいる。だから、これ以上に鉢を増やす気はなく、現状を維持する方針だ。

テレビや雑誌、新聞の取材でわが家を訪れるマスコミの人たちは、決まって温室を覗く。その理由は、多分に、私のイメージとサボテン栽培が結びつかないからにちがいない。〝毒舌家〟と想われているみたいだが、そのトゲがサボテンから来ているのではなく、大阪生れの大阪育ちに由来する。私は小学生のおりからサボテン好きで、ずっと温室をもってきた。寿命の短い可憐な花をつけるサボテンは、あのグロテスクなイメージとは裏腹に愛らしい。

わが家の住む土地は、山肌を削って造成されたがゆえに、すこぶる水はけがよい。いや、三、四〇センチも掘り起こせば、みごとな砂地であることがわかり、そのせいで水はけがいいのだ。その砂がサボテン栽培にバッチリなのである。

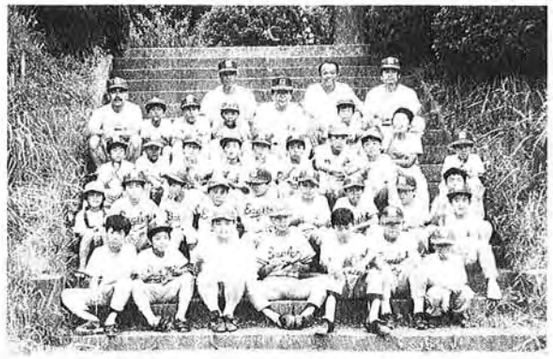
家内は、「砂地だから地震が心配だわッ！」とのたまうが、逆に揺れを砂地が吸収してくれるのか、それほどの揺れを感じない。

周辺には、サボテン栽培に不可欠な品々が売られているので、暇をみつけては出掛ける。弱い品種を強い品種に継ぐときは、胸がワクワク踊る。道具をきちんと揃え、無心になって取り組む。数ケ月して、その成功が判明すると、何といえぬ状態を味わうことができるのだ。

〈編集部注〉今やテレビCMでもおなじみの、ちょんまげ教授は、わが街の住人。専門はスポーツ人類学

やったゾ！荏田南イーグルス

―緑区少年野球大会で三位に入賞―



準々決勝の最終回、二死満塁。得点差は2点。イーグルス一番打者U君の打った球が、右中間を越えた瞬間に、両軍のベンチも応援団も総立ちだ。グラウンドは歓声と悲鳴に包まれ、異様な興奮状態。一塁の逆転ランナーがホームを踏んだ瞬間、熱戦の幕を閉じ、イーグルスが創部10周年にして初めて緑区の大会で準決勝に勝ち進んだのです。

今大会は、四人の6年生を中心に会員が活躍し、試合ごとにヒーローが変わるという子どもたちにとっては、忘れられない夏休みの思い出、チームにとっては結成10周年記念のプレゼントとなりました。

荏田南イーグルスは、荏田南地区の小学生を中心に10年前に結成された少年野球チームです。最近のJリーグブームで、サッカーに子どもたちを奪われ、一時はチームの存在まで心配する状態でした。でも、今春、大勢の子どもたちが入部し、秋の大会ではA・B2チームが参加するまでになりました。明るく元気で礼儀正しい子、自主性、自己主張のできる強い子に育てることをモットーに、毎週日曜日に荏田南中学校で練習しています。どうかご声援ください。また、野球の好きな子どもの入部を待っています。

連絡先☎941－3096（吉本＝メゾン桜ケ丘）か942－6745（鹿野＝しいの木台）

あんなこと　こんなこと

◆都筑ふれあいの丘まつり　11月12日と13日に都筑地区センターと「あゆみ荘」で、バザー・鉄道模型展示・チャリティーダンス・囲碁・将棋・各種展示など。13日午前10時より、元石川高校吹奏学部の演奏も行われます。

◆やさしい能楽講座　11月19日＝概説／薪能・面装束・歴史、ハーモス荏田で。12月10日＝能の舞踏／仕舞と型、淡島神社で。1月14日＝能の音楽／謡と囃子、中川西地区センターで。2月18日＝面・装束付けと見どころの実演、ドイツ学園で。全て午後2時～4時、定員50人（4回目は二百人）、講師は本田光洋、費用は通し券三千円、各回千円（4回目のみ千五百円）。

申込みは往復ハガキに住所・氏名・出席回を明記し、〒223港北区茅ケ崎2031「行政サービスセンター生涯学習支援担当」問合せ先　岡本☎941－3608

主催　薪能を実現する会

NEWTOWN HOME'S 2・4
HOUZE
株式会社 ハウゼ
そろそろリフォームをお考えの方
リフォームのご相談お気軽に
ハウゼのプランナーがご相談に応じます。
■戸建 ■テラスハウス ■事業用ビルetc
〒223 横浜市港北区牛久保西2-1-30
TEL. 045-912-1000(代)
TEL. 045-912-1800(建設部/設計部)
グループ会社 神奈川中央住宅株式会社

■土地 ■戸建 ■マンション
ご購入・ご売却
お気軽にご相談ください。
PHONE 045(941)1000
KANACHU 神奈川中央住宅株式会社
不動産情報センター
〔水曜定休〕 〒225 横浜市緑区荏田南 2-10-16

美容室
9：00～19：00 火曜定休
横浜市緑区荏田南3-2-13
☎045-942-2266
MY HAIR LADY
FURASUKO
・海外ブランド化粧品・インポート下着
・インポートカジュアル《メンズ・レディス・子供》
・リサイクル(委託)持ち込み受付中!!
緑区仲町台2-18-6(駅より歩3分) Tel&Fax 942-0222

村田耳鼻咽喉科
荏田東4丁目6番地14号　☎941－4133
診療時間　平日 9:00～12:00・2:30～6:30
土曜 9:00～1:30
〈休診日〉
木曜・日曜
祝日
医師
村田憲彦

連合自治会だより

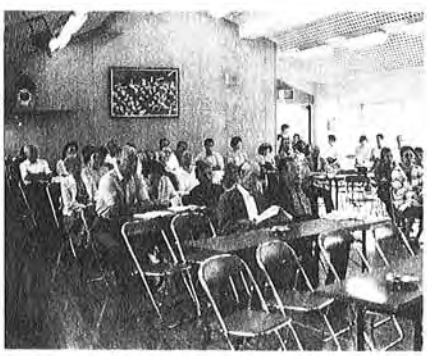
■荏田南社会福祉協議会が設立される　分区に伴って、連合自治会を手始めに各種団体などの再編が進められています。その中でも、福祉面で重要な役割を担う荏田南社会福祉協議会が設立されました。会長は荏田南二丁目自治会会長（連合自治会副会長）の城所辰男さん（荏田南二丁目）です。

■荏田南シニアサロンを開催　敬老会や老人会が整っていない自治会が多いため、連合自治会と社会福祉協議会で、地域の高齢者が交流できるイベントを企画。9月18日に荏田南幼稚園で「荏田南シニアサロン94」と題して、講演と茶話会、コーラスなどを楽しんでいただきました。当日ご出席いただいたシニアの方々は約50人。講演は港北ニュータウン土地区画審議委員の青木公雄さん。ニュータウンができるまでのビデオを見た後、苦労話などを話していただきました。青木さんの話をもとに、お茶を飲みながら、出席者の感想などをうかがい、最後に丹羽裕子さんの指導で昔なつかしい童謡などを歌い、和やかな会となりました。これからも高齢者の方々が、この町で楽しく暮せるよう、参加しやすい企画を考えていく予定です。

■大規模に防災訓練　これまで各自治会単位で行っていた防災訓練を、連合自治会で大々的にやろうと、10月23日に牛谷運動公園で防災訓練が行われました。はしご車や起震車が来て、激震を体験。消防署員から消化器や三角巾の使い方を教わり、かんぱんも配られました。

■一丁目自治会一日バス旅行　昨年一泊旅行を計画し、参加者が少なくて実現できなかったため、今年は日帰りのバス旅行を実現。秋の甲斐路から富士山麓の忍野八海へ、ブドウ狩りもあり、楽しい一日でした。

■11月23日にスポーツ大会　6月に「連合自治会発足」を記念して、レクリエーション大会を行いました。大玉ころがしや綱引・リレーなどを、親子で楽しんでいただきましたが、毎年行ってきたソフトボールも続けようと、秋のスポーツ大会を計画しています。日にちは祝日（勤労感謝の日）の11月23日、会場は牛谷運動公園でソフトボール、荏田南中学校でサッカー、荏田南小学校でドッチボール。詳しくは各自治会にお知らせしますが、すべて自治会対抗です。昼過ぎからは小学校の体育館で、体育指導委員の大矢勝さんの指導で新しいスポーツ「インディアカ」のデモンストレーションと体験試合を行います。小学生からシニアまでふるってご参加ください。



▲荏田南シニアサロン94

都筑こぼれむかし

虫送り

今年7月23日のよる、川和町の田んぼの回りを、たいまつを手にした三百人の人たちが、お囃子連中の奏でる笛や太鼓に合せて「ヨーイ、ヨイ」のかけ声をかけながら練り歩いた。実に昭和24年以来、44年ぶりに復活した川和町の「虫送り」行事である。

「虫送り」とは、ウンカやズイ虫など、稲の害虫を村外に追放、豊作を祈願する伝統行事。戦前では各村でそれぞれ少しずつ形式の変わった「虫送り」が行われていた。ほとんどが消滅した中で、昭和51年に復活した南山田町に続き、今年川和町も町民の方々の努力により、伝統行事を再び体験できたことは、大変喜ばしい。

夕暮れの薄明かりの中に、満月を背景にたいまつの炎がゆらめく様子は、初夏の風物としてこれからも大切にしたい。お囃子の音色がもの悲しいのは、害虫とはいえ、今までいっしょにいた虫を送ってしまう寂しい気持の表われであるという。自然とともに人間と生活はあるようだ。

（福富）